

～ あらゆるファイルを自動的に暗号化 ～



TIFS

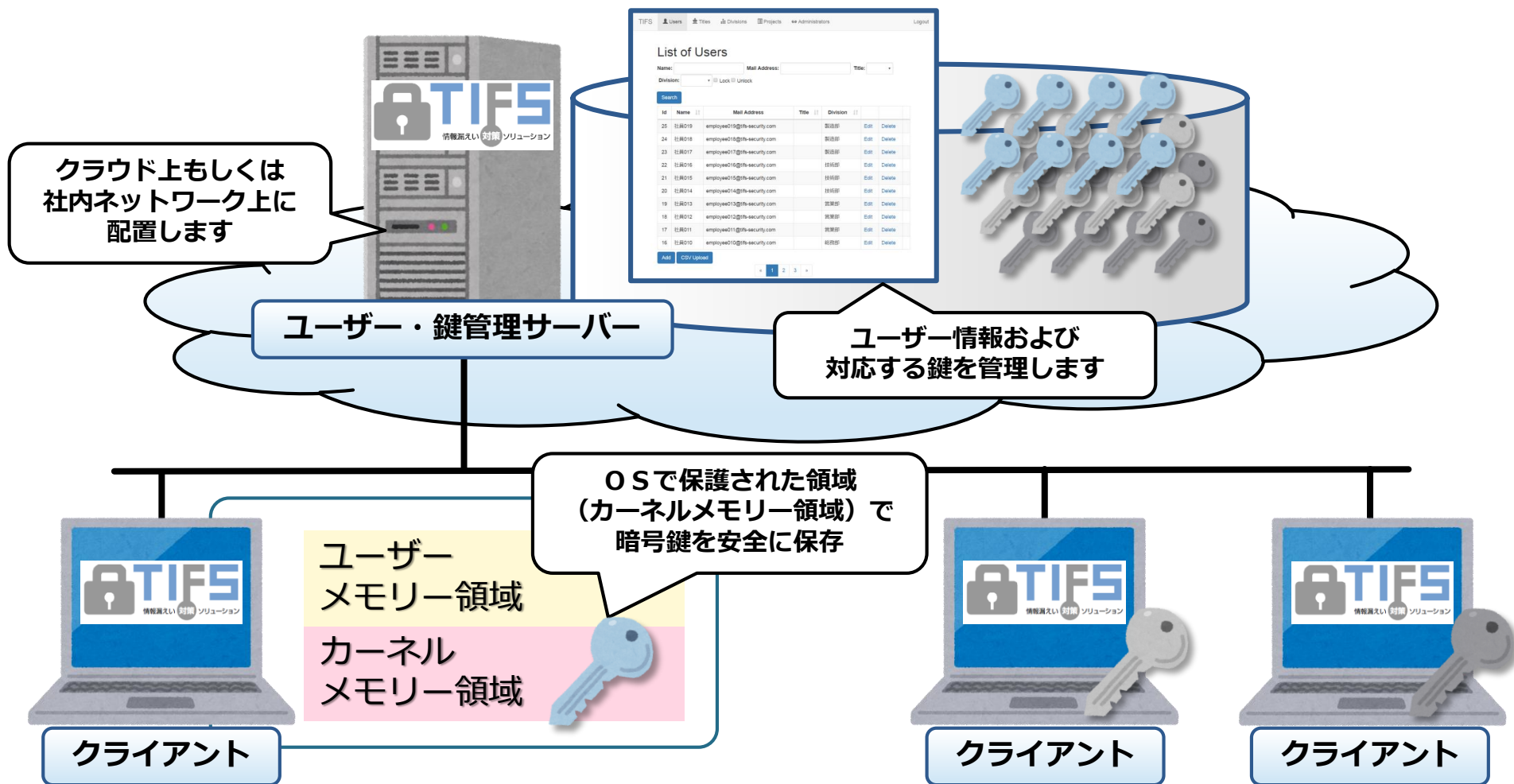
情報漏えい 対策 ソリューション

製品説明資料

① TIFSの構成



1 TIFSは、ユーザー・鍵管理サーバーとクライアントで構成されます。

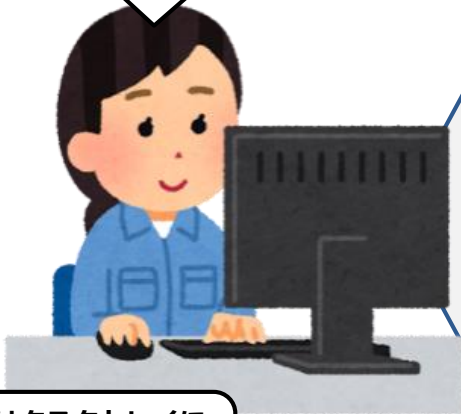


① TIFSによる暗号化・復号

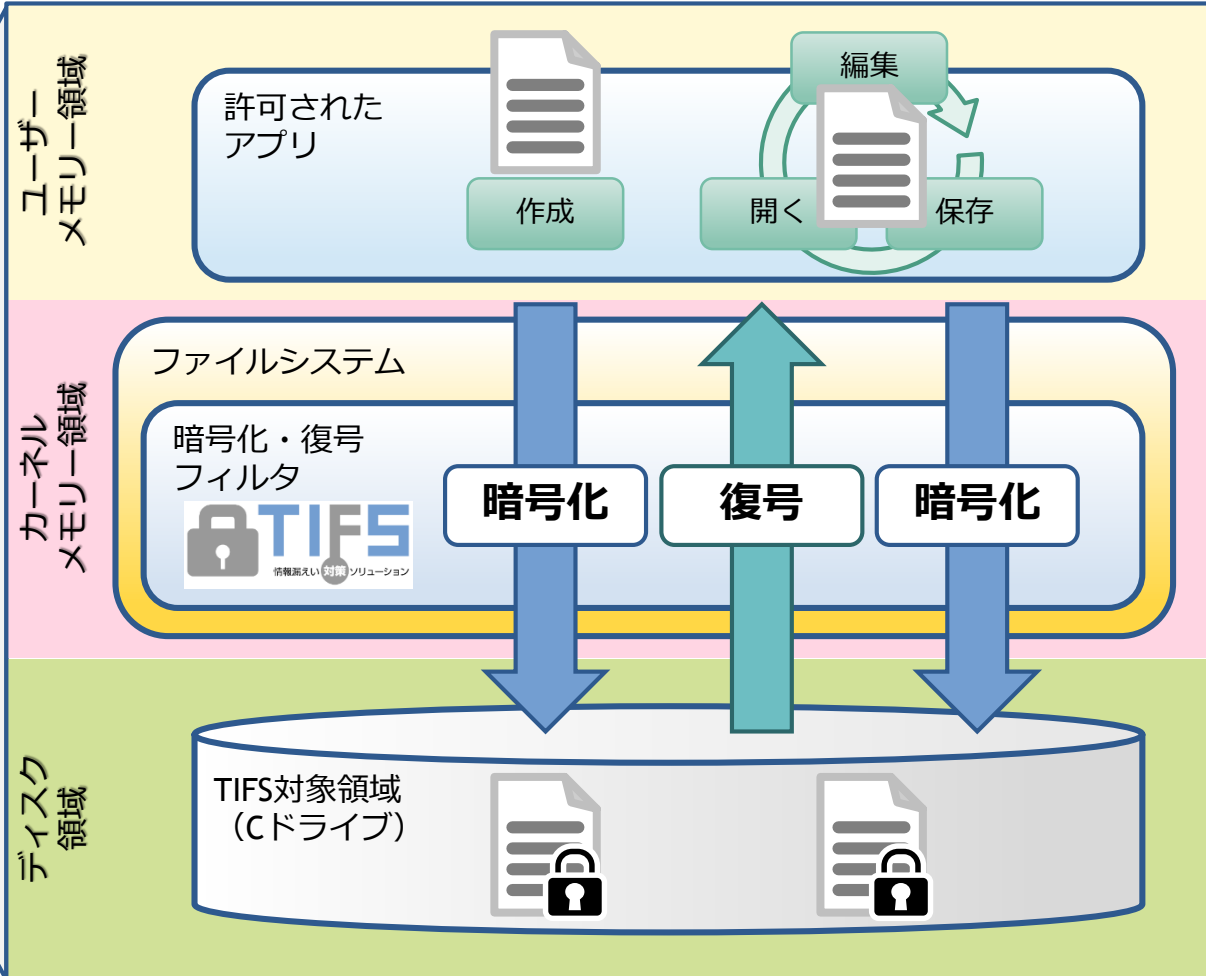


1 TIFSによる暗号化・復号は、ファイルシステム内部で暗号化・復号フィルタドライバーとして動作します。ユーザーが明示的に暗号化・復号操作を行なう必要はありません。

ユーザーは暗号化・復号を意識する必要が无いため本来の業務に集中できます



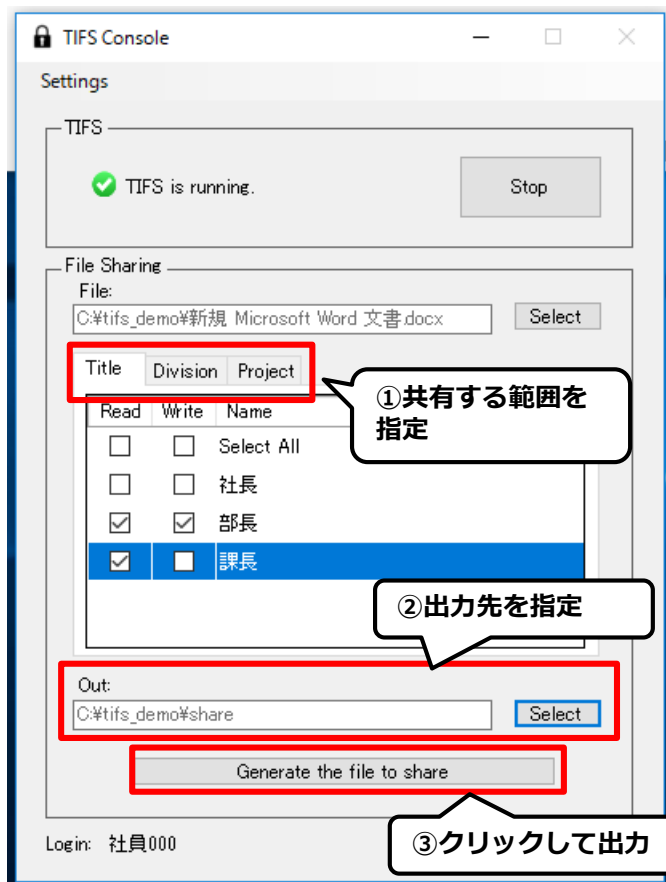
動作中はタスクトレイに緑の鍵アイコンが表示されます



② TIFS共有暗号化



- 1 TIFS共有暗号化は、ユーザー・鍵管理サーバーから指定した範囲に対応する共有暗号鍵を取得して暗号化します。ユーザーの役職や所属する部署、プロジェクトの範囲を指定します。



TIFS Console

Settings

TIFS

✔ TIFS is running. [Stop]

File Sharing

File: C:\tifs_demo\新規 Microsoft Word 文書.docx [Select]

Title Division Project

Read	Write	Name
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Select All
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	社長
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	部長
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	課長

Out: C:\tifs_demo\share [Select]

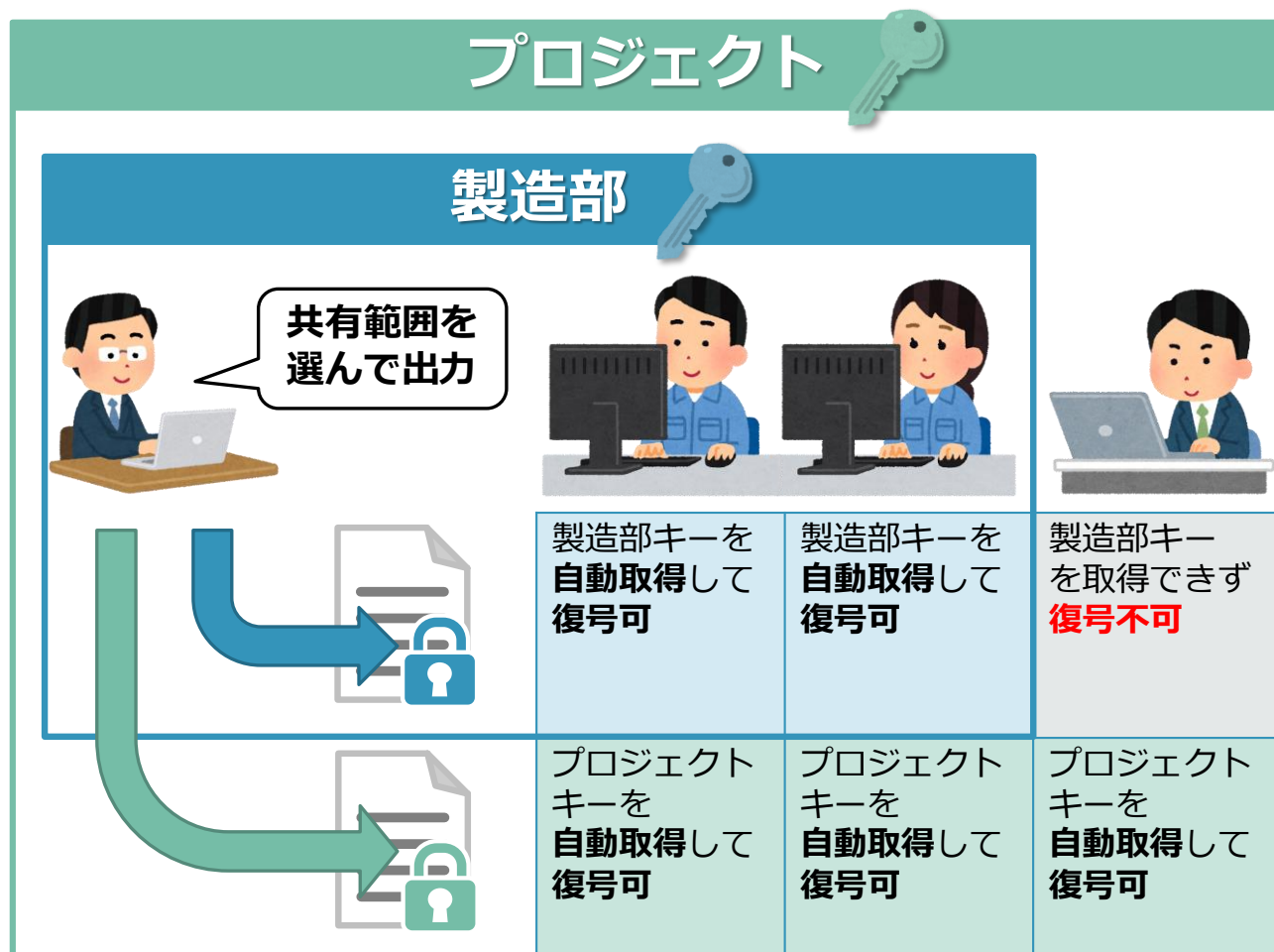
[Generate the file to share]

Login: 社員000

①共有する範囲を指定

②出力先を指定

③クリックして出力



プロジェクト

製造部

共有範囲を選んで出力

製造部	製造部	製造部
製造部キーを自動取得して復号可	製造部キーを自動取得して復号可	製造部キーを取得できず復号不可
プロジェクトキーを自動取得して復号可	プロジェクトキーを自動取得して復号可	プロジェクトキーを自動取得して復号可

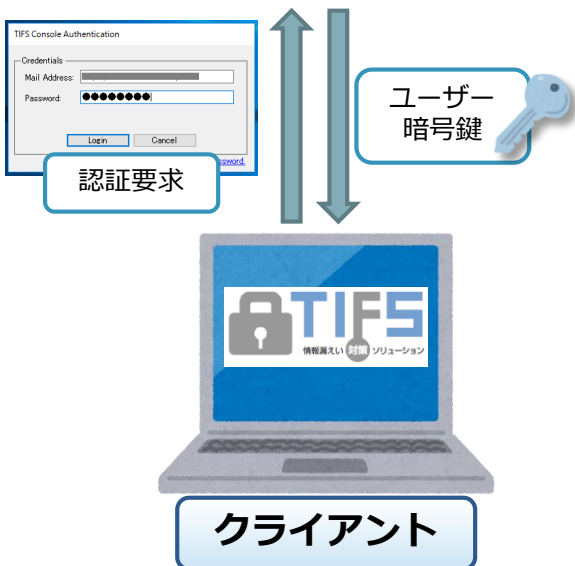
③ユーザー・鍵管理



1 ユーザー・鍵管理サーバーは、クライアントからの要求に応じて暗号鍵を渡します。



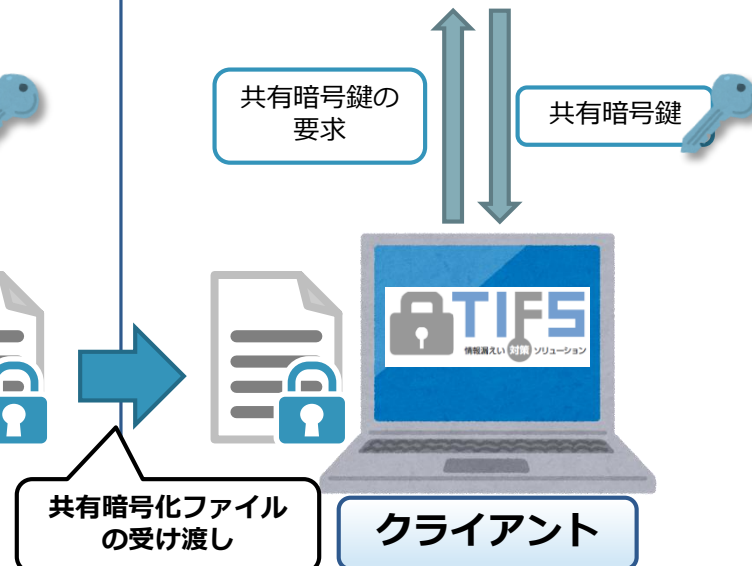
1) ユーザー認証



2) 共有暗号化ファイルの作成



3) 共有暗号化ファイルの復号



④ 復号許可アプリケーションの管理



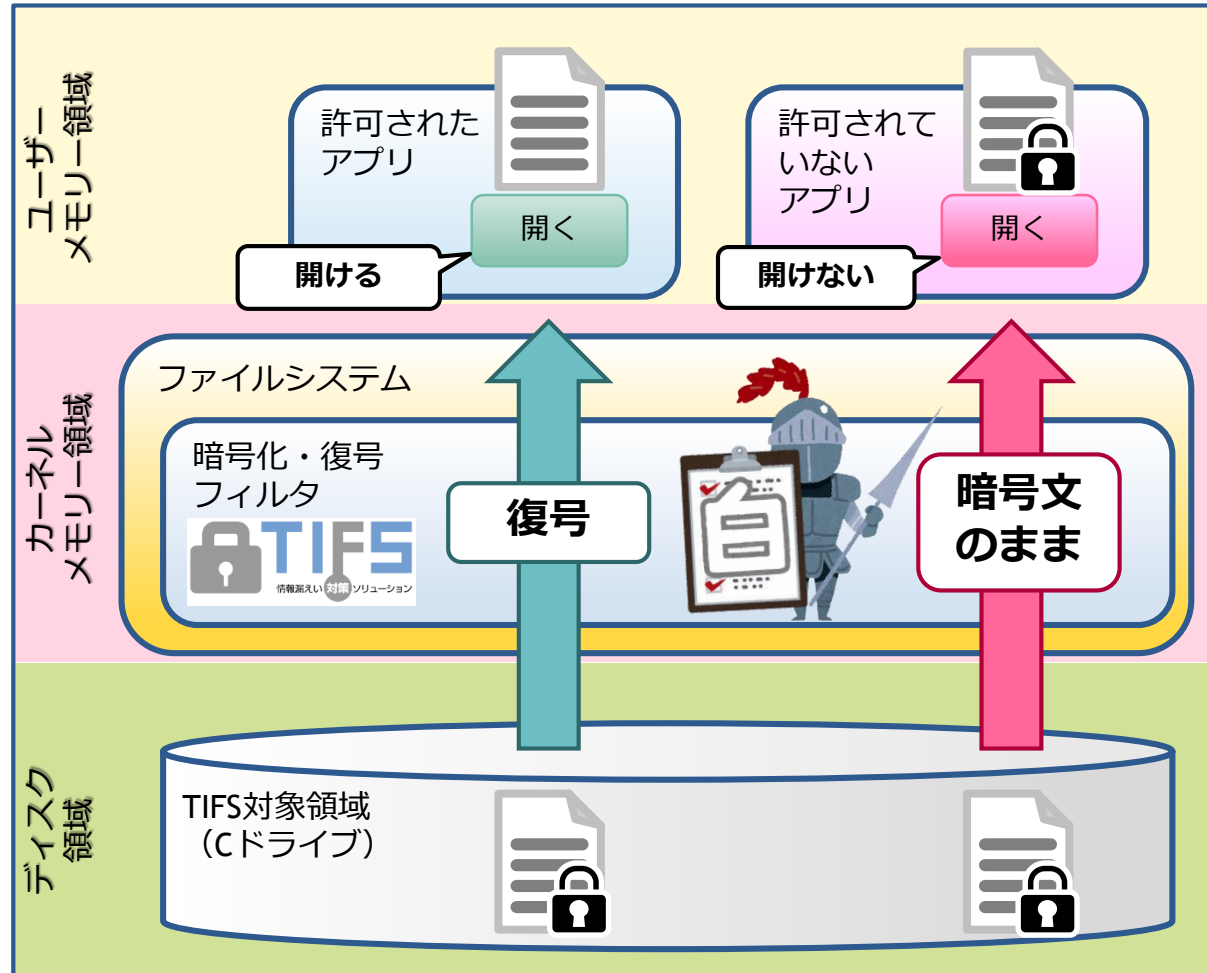
1 TIFSは、許可されたアプリケーションからのアクセスのみ復号します。「デフォルトアプリケーション」を許可されたアプリケーションとして扱いますが、特定のアプリケーションを明示的に許可することも可能です。

デフォルトアプリケーションを暗黙的な許可アプリケーションとして扱います



信頼されたアプリケーションを許可リストに登録

悪意のあるアプリケーションにはファイルの内容を見せません!



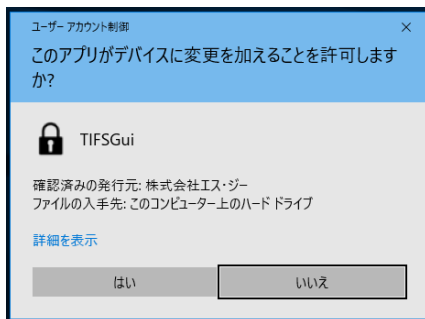
① TIFSによる暗号化・復号



Windowsログオン時に起動

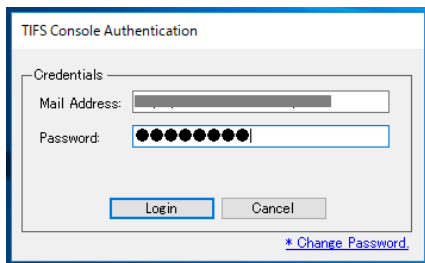
自動で暗号化・復号

- 1 ログオン時(※)にTIFSの実行を許可します。

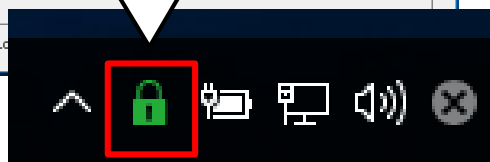
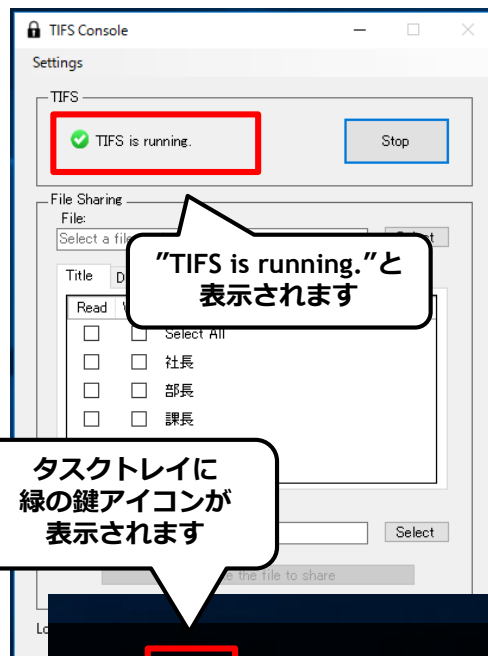


※管理者権限が必要です。

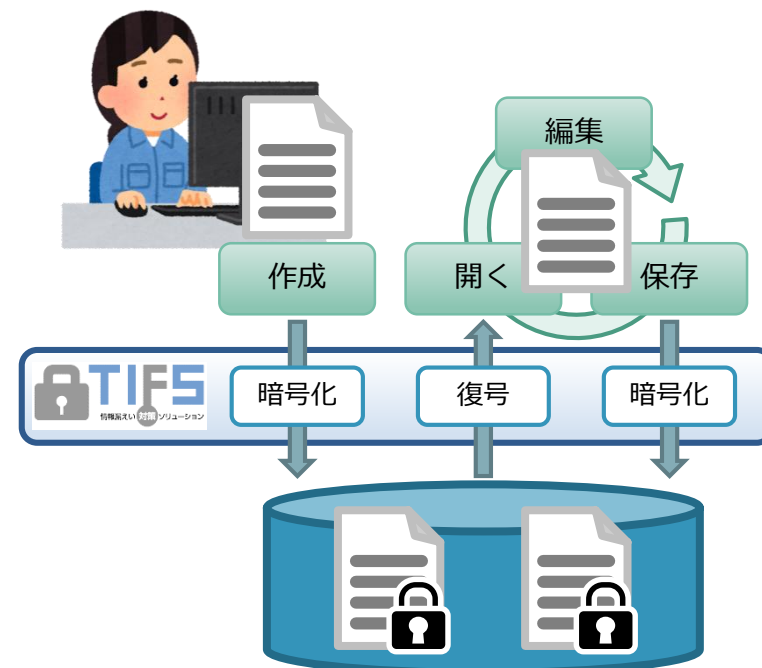
- 2 アカウント情報を入力し、認証します。



- 3 TIFSによる暗号化が有効な状態で起動します。



- 4 暗号化が有効な状態でのユーザー操作により、自動で暗号化・復号が行なわれます。



② TIFS共有暗号化

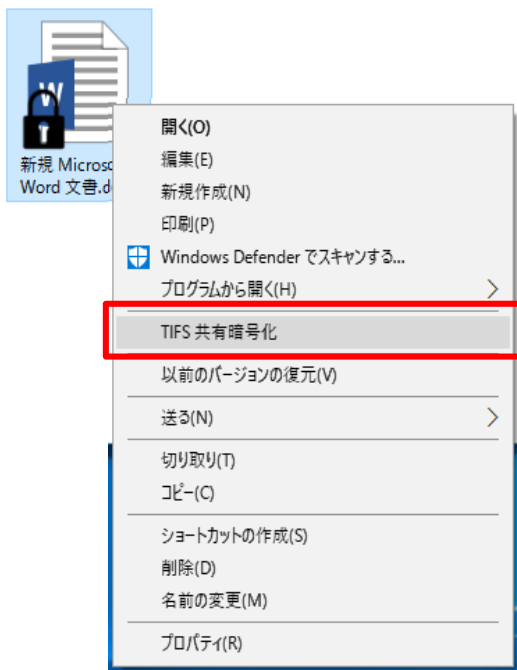


対象を指定

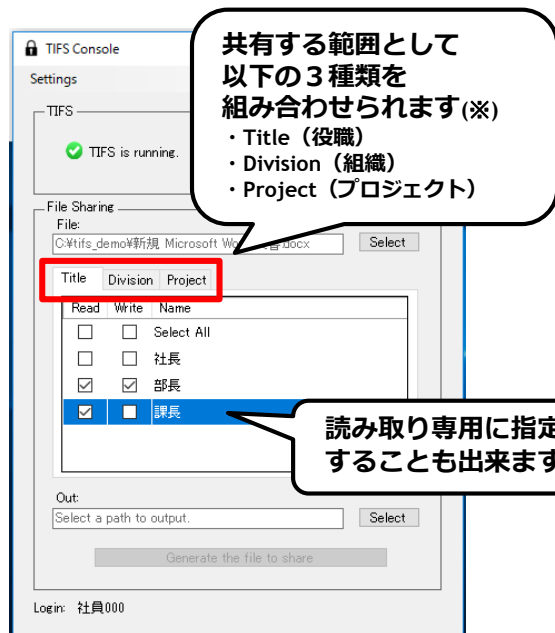
共有範囲を選択

指定フォルダへ出力

- 1 共有するファイルで右クリックします。

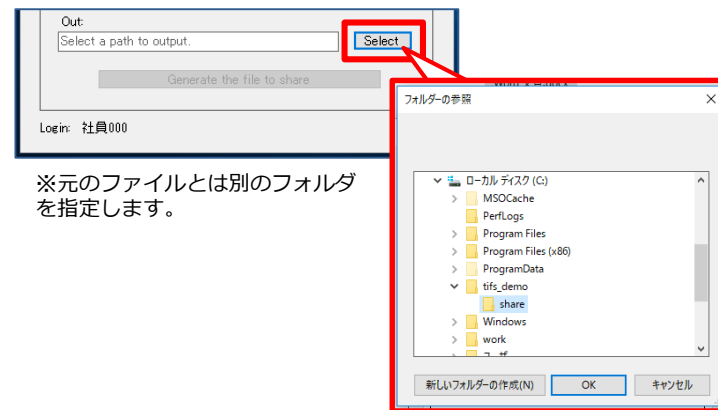


- 2 共有する範囲を選びます。

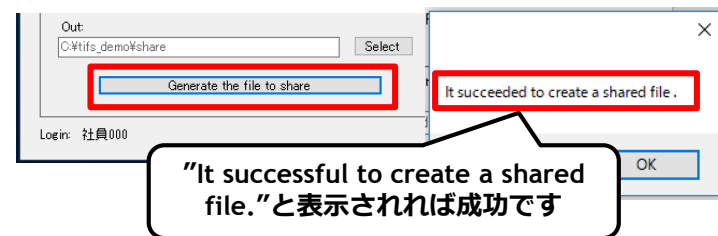


※複数種類を指定した場合は、集合和となります。

- 3 共有暗号化するファイルの出力先フォルダ(※)を指定します。



- 4 出力ボタン (Generate the file to share) をクリックします。



③ユーザー・鍵管理



ログイン

- 1 アカウント情報を入力し、ユーザー・鍵管理サーバーにログインします。

TIFS
Welcome to TIFS Web Application Server

Name:

Password:

Log In

※管理者権限が必要です。

組織情報の登録

- 2 「役職」「部門」といった組織情報を登録します。

TIFS List of Titles

Id	Name	Edit	Delete
3	課長		
2	部長		
1	社長		

Add

Add a Title

Name: 係長

Register

Id	Name	Edit	Delete
4	係長		
3	課長		
2	部長		
1	社長		

Add

※「Title (役職)」を追加する場合の例。

ユーザー情報の登録

- 3 ユーザー情報を登録します。ユーザー情報はCSV形式で一括登録することも可能です。

TIFS List of Users

Name: Mail Address: Title:

Division: Lock Unlock

Search

Id	Name	Mail Address	Title	Division	Edit	Delete
25	社員019	employee019@tifs-security.com		製造部	Edit	Delete
24	社員018	employee018@tifs-security.com		製造部	Edit	Delete
23	社員017	employee017@tifs-security.com		製造部	Edit	Delete
22	社員016	employee016@tifs-security.com		技術部	Edit	Delete
21	社員015	employee015@tifs-security.com		技術部	Edit	Delete
20	社員014	employee014@tifs-security.com		技術部	Edit	Delete
19	社員013	employee013@tifs-security.com		営業部	Edit	Delete
18	社員012	employee012@tifs-security.com		営業部	Edit	Delete
17	社員011	employee011@tifs-security.com		営業部	Edit	Delete
16	社員010	employee010@tifs-security.com		総務部	Edit	Delete

Add CSV Upload

- 4 ユーザー毎の暗号鍵は、ユーザー情報の登録時に生成・保管されます。共有暗号鍵は、要求時に存在しなかった場合に生成・保管されます。

④ 復号許可アプリケーションの管理

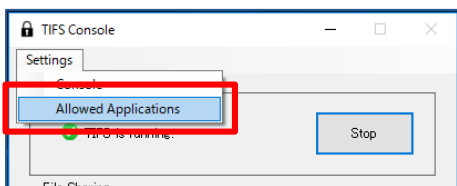


管理画面を開く

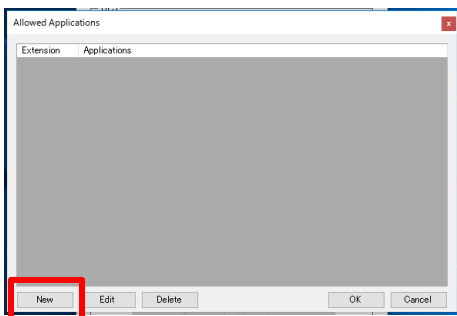
許可アプリを指定

許可アプリを登録

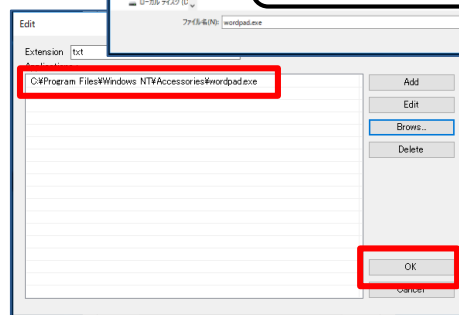
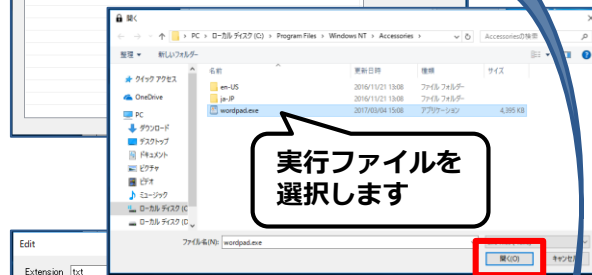
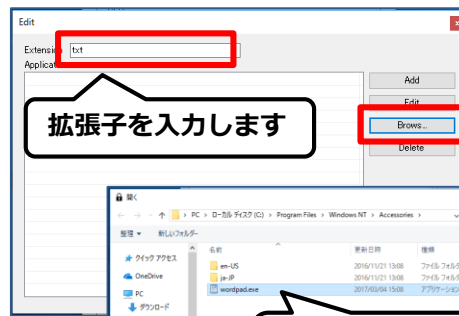
- 1 TIFS Consoleのメニューから[Allowed Application]を選びます。



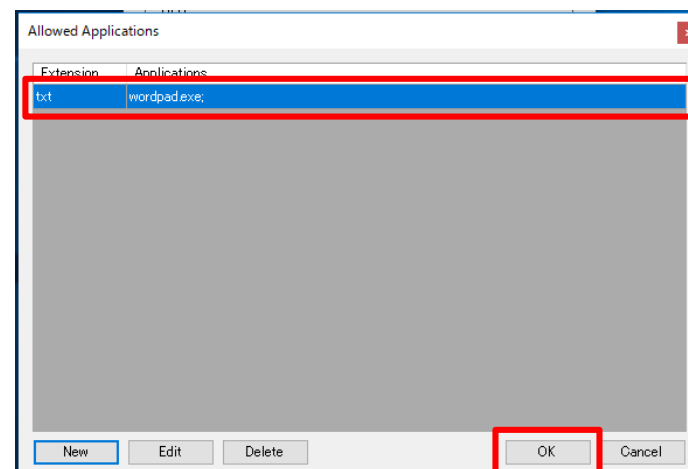
- 2 [New]ボタンをクリックします。



- 3 拡張子を指定し、対象アプリの実行ファイルを選択します。



- 4 復号許可アプリケーションの一覧に指定したアプリが追加されたことを確認します。



- 5 新たに追加したアプリケーションで暗号化されたファイルを開くことが可能となります。